

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和2年度）2020

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	12	26	土	8:30	12:00	五味ヶ谷市民の森	19名
活動名称	家族で楽しむ門松教室					報告者：吉井 優	

1、活動目的

私達が市民管理協定で整備している五味ヶ谷市民の森は、竹林と雑木林からなり、近隣住民の散策路として親しまれています。この森を子供たちに積極的にアピールし、楽しさを通して森の大切さを理解してもらいます。市民の森の竹林で発生する竹を有効利用する目的で10年以上前から、門松作成を行っています。2013年から東市民センターで門松教室を開催しています。

家族で協力して門松を作ることで、家族の絆が深まり、地域の方々とのふれあいもできます。

2、活動内容ほか

8時半集合、市民の森にシートをひき、工具と材料を設置した。暖房用にドラム缶で炭火をおこし、温まれる対策とした。9時から受付開始して、体温測定、手指の消毒、マスク着用を徹底した。41組事前受付したが、4組キャンセルで、37組の参加となった。9時半にイベント開始、門松の作り方から説明し、各々自分のペースで門松づくりに取り組んだ。12時頃に全員門松作成が終了し、後片付けをして、イベント終了した。

3、評価：

コロナ禍ということで、室内での密状態を避けるために、市民の森を会場に門松教室を開催したが、寒さが和らいでいるせいもあって穏やかにイベントが進行した。いつものことであるが、門松教室は、人気で、子どもたちも親も夢中になって楽しんでくれた。ボランティア参加の6名の城西大学生も、初めての経験を楽しんでくれた。

4、課題

初の野外門松教室だったが、問題なくできた。コロナの推移によっては、2021年も市民の森開催もありかも。ビニールシートは折り目をつけしっかりたたむこと。

<里山参加会員>

小澤、佐野、吉井、小沢弘、石川、脇谷、杉山、小嶋、小沼、牛島、大森、室、松井、風祭、橋本、柳川、上見、田中、木部

<活動写真>

